

## 18歳と81歳

JJ1SXA/池

今年(2016)1月、ツイッターで話題になったのが、18歳と81歳の比較だ、フェースブックにも転載されている、思わず笑ったが、笑ってはいられない、私もいよいよ80歳の誕生日を過ぎた、いわば81歳の仲間入りだ。

道路を暴走するのが18歳、逆走するのが81歳

心がもろいのが18歳、骨がもろいのが81歳

偏差値が気になるのが18歳、血糖値が気になるのが81歳

受験戦争を戦っているのが18歳、アメリカと戦ったのが81歳

恋に溺れるのが18歳、風呂に溺れるのが81歳

まだ何も知らないのが18歳、もう何も覚えていないのが81歳

東京オリンピックに出たいと思うのが18歳、東京オリンピックまで生きて思うのが81歳

自分探しの旅をしているのが18歳、出掛けたまま分からなくなって、皆が探しているのが81歳

「嵐」というと、「松本潤」を思い出すのが18歳、鞍馬天狗の「嵐寛寿郎」を思い出すのが81歳

いやはや、言い得て妙とはこのことか、それにしても80歳台に入ると、若者からはこんな目で見られているのだなと少し落ち込む、自分にはそんな意識は無いが、一般的には現実はいこうなんだろうなと思う。

18歳も、60余年経てば81歳だ、30歳台位までは若者でも、40歳代に入れば立派な中年、中年期に入れば60歳代の老年層は直ぐに来る。

50歳になったばかりの頃は、定年の話をされても、遠い将来の話だと思って聞いていたが、あっという間にやってきた。

その頃、後期高齢者の話が聞こえ始め、何だそれと置いていたら、それもあっという間に通過して、今は、平均寿命のあたりに差し掛かってしまった。

必ずやってくる、命尽きる日、それまで認知症老人では無く、寝たきり老人でも無く過ごしたいが明日は分からない。

道路を逆走しないように、風呂で溺れないように、徘徊して皆が探すなどということの無い様にと、気をつけたいものだ、そうなったら人間終わりだ、そうならない内に食べたいだけ食べて、呑みたいだけ呑もうかなどと不埒な考えが浮かぶが、寝たきり老人にでもなったら大変だし、ピン・コロリを願うなら矢張りもう少し健康に配慮しなければいけないと思う。